

2025年8月 FAQ (2)

2025年9月5日

キッズウェル・バイオ株式会社



お問い合わせ内容

回答

2025年10月に開催されるBIO Japanや、その他の学会やカンファレンスへの参加目的について教えてください。

当社は、バイオシミラー事業および細胞治療事業のさらなる成長を目指し、国内外の学会やカンファレンス等に積極的に参加しています。主な目的は、企業・投資家・アカデミア等のパートナー探索であり、規制当局を含む関係者との関係構築にも取り組んでいます。

また、学会への参加においては、当社の研究成果の発表、最新の学術情報の収集、専門医師との意見交換を通じたネットワーク形成を目的としています。

御社はバイオ医薬品の開発・製造に関して、どのような強みを持っていますか。また、業界内での競争優位性はどのように確保されていますか。

日本の多くの製薬企業は、一時期低分子医薬品の開発に集中していたため、国内においてバイオ医薬品の開発・製造に精通した人材は現在限られており、バイオ医薬品分野への参入障壁になっています。

その様な環境において当社は、これまでにバイオシミラー 4 製品の開発・供給を通じて、バイオ医薬品に関する知見・技術・ノウハウを着実に蓄積し、社内人材の育成にも取り組んでまいりました。さらに当社は、信頼性の高い開発・製造受託機関（CDMO）等との強固なネットワークを有しており、安定した開発・製造体制を確立することが可能です。

お問い合わせ内容

1 本の乳歯から採取されるSHED（乳歯歯髄幹細胞）は、「1 人の子どもから最大20本の乳歯が採取できるため、安定供給が可能である」と以前から説明いただいております。しかしながら、昨今の日本では少子化が深刻化しており、現在の出生率は過去最低水準にあると報じられています。このような状況下において、今後もSHEDを安定的に確保することができるのでしょうか。

回答

SHEDが元来持つ高い自己増殖能力に加えて、当社の独自技術を用いることで、乳歯 1 本から数千万本分のSQ-SHED製剤を製造できると見込まれており、特定の疾患に対して数十年分の治療提供が可能です。そのため、実際に必要となる乳歯の数は少なく、今後の適応症拡大や次世代SQ-SHED等への応用拡大を見据えても、現時点においては、安定供給に関する懸念は生じないものと考えています。

KIDS WELL, ALL WELL

こどもの力になれること、こどもが力になれること

本資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及び その他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。